



# たま病院 TAMA Hospital News Letter 2022 ニュースレター



## 咳について

呼吸器内科部長 棚橋 淳子

咳は元来外来で一番多い症状とされています。長いコロナ禍において、軽い咳でも心理的に負担になり悩む方が増えています。

### 【なぜ咳をするのか】

咳は基本的には気道内に蓄積された分泌物や異物を外に出すための生体防御反応です。生理学的に3つの機序があります。

- ①反射的咳嗽：気道内に誤嚥されたものを出すための脳幹反射。無意識でも出ます。
- ②随意的咳嗽：気道などからの刺激がなくても随意的に発現する咳。抑制することもできます。
- ③気道のイガイガ感により咳衝動（刺激による咳が出そうな感じ）が生じ、その結果出る咳。

病的な咳の多くは③によります。

病的な状態では気道壁表層の咳受容体が亢進し、弱い刺激でも咳が発生します。咳が楽になると受容体の感受性も良くなります。受容体は気道のほかに下部食道、心外膜、外耳などに広く分布しています。



### 【難治性咳】

8週間以上長く続く咳を慢性咳嗽とよび、その5～10%は治療が効きにくく、当院では約40%に達します。診察、血液検査、呼吸機能検査、胸部CT、気道炎症を測るFeNOなど検査を行い診断しても原因不明である方もいらっしゃいます。各種薬剤を使用するだけでなく、心理的なアプローチが必要です。

ありふれた症状ですがときにとても難しい咳。  
お困りの際はご相談いただければと思います。

部門紹介

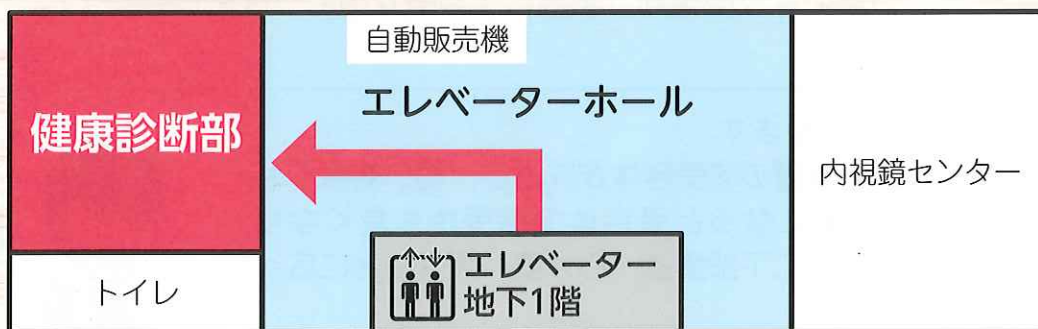
呼吸器内科

当科には検診レントゲンでの異常影、咳、呼吸困難をきっかけに受診される方が多く、気管支喘息、肺気腫や慢性気管支炎などの慢性呼吸不全、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、排菌のない肺結核、気胸、肺癌などの治療をおこなっています。酸素化が悪い方には呼吸機能障害による身体障害申請、間質性肺炎に対する抗繊維化薬の導入の際の特定疾患申請、川崎市の非喫煙喘息患者さんには成人ぜん息医療費助成申請など、患者さんそれぞれによりそった提案をさせていただきます。



健康診断部を移設いたします

この度、2023年1月10日(火)より健康診断部の場所が移設します。  
 昨年度の移設に続き、皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご利用をお待ちしております。  
 12月26日(月)から1月6日(金)は、引っ越しと業務準備のため、窓口業務を停止します。  
 新しい場所は、以下のとおりです。



エレベーターで地下1階降りてすぐ左へ！